

「五葉山の魅力」

五葉山自然倶楽部
創立10周年に寄せて

(37)

私が初めて三陸地方に足を踏み入れたのは陸前高田市と大船渡市である。東北大学で自然地理を学び、三陸リアス式海岸に興味を覚えたころであった。

三陸リアス式海岸といえは、長く延びた半島と深い入り江に特徴付けられた雄大な地形として有名である。

当時から私の専攻は地形状であり、高等学校時代に教科書にあった「沈水海岸」という用語に大いに興味を持っていた。半島の先端にある岬の小径をめぐる、目前に広がる雄大な海。そして、入り江の奥に足を運

べば、そこには鏡のようにおだやかな内湾がじつと横たわっていた。

入り江の奥に河口をもつ中小の河川は、深い自然に覆われた北上山地から流れ出て、陸前高田市や大船渡市、同市三陸町、越喜来などの湾奥にも小さな平野を造っている。

あるとき、砂浜を渡る砂に私は気を留めた。た

また来てみたい砂浜

宮城県仙台市 松本 秀明

砂浜は川や沿岸の流れによって運ばれる砂礫によつて形成される。川の

上流に白い岩が多くあれば白い砂浜が、黒い岩が多

くあれば黒く褐色の砂浜となる。

五葉山は海拔(標高)一、三四一・三あり、高度の低い北上山地の中

の特徴は、風化の仕方にある。花崗岩は岩体として堅いが、時の流れで表層からしだいに風化が進

行する。風化は鉱物同士の結合力を弱める。

やがて、花崗岩の組織をそのまま残しながら、ハンマーなどの軽い打撃で崩れる程度に進行す

る。そして鉱物サイズにまでばらばらになり、真砂と呼ばれる砂になる。

その砂は溪谷から海岸に運ばれ砂浜を形成する。乳白色の堆積物が浜

域である海や海岸ばかりを見つめてきた。この歳

なつて私は初めて後ろを振り返る心の余裕が出てきたのだろうか。

【執筆者プロフィール】

唐丹(釜石市)の湾奥学生時代に興味を覚えた三陸リアス式海岸。「また来てみたい砂浜」がかつての通りあった唐丹(釜石市)の湾奥にある白い砂浜

